

株式会社ベジーツ・株式会社ベジーツファーム (長野県)

JGAP 2021年取得
(レタス、サニーレタス、リーフレタス、
ロメインレタス、ほうれん草、はくさい、
シャンツアイ、キャベツ)

所在地：長野県北佐久郡御代田町
応募区分：個別経営の部

面積：32ha
構成員：30名
栽培品目：レタス、サニーレタス、リーフレタス、
ロメインレタス、ほうれん草、はくさい、
シャンツアイ、キャベツ



社内ミーティングの様子

▼GAPに取り組んだきっかけ

- 平成24年、取引先からの出荷品のクレーム（異物混入）に対し自社が原因でないことを説明できなかったことから、整理整頓に取り組むようになり、GAPを知る。
- 整理整頓等を進めていく中で、GAPの取組を通じて経営上の課題の改善が図られ、会社の継続・発展につながると考え、令和元年ASIAGAPを取得。

▼生産工程管理の改善へ向けた取組

- 全70ほ場の土壌診断を毎年行い、診断結果に基づく施肥を実施。
- SNSを活用し、全70ほ場の農作業情報を社員全員で共有。社員を3チーム編成とし、品目ごとの農場長を決め、社員自ら施肥・農薬使用計画や栽培計画を立案し実行。
- 「ヒヤリ、ハット」を経験した際は、SNSを活用し、その内容を社員間で共有。
- 過剰施肥や在庫を減らすため、栽培計画に基づいた資材の発注を行い、平成29年と比較して備品の不良在庫を金額換算で約6割軽減。

▼生産効率の向上に向けた取組とその効果

- チーム内で年間の作業計画を作成し、無駄な作業、人員配置の洗い出しを行い、効率的な作業を実現。具体的には、労働時間を1分単位で把握し、無駄な作業、無理な作業が生じていないか日頃から確認し改善。これらの取組を通じて、平成24年と比較し社員一人当たりの労働時間を約100時間/年削減。
- 労働時間が削減される中でも、野菜の正品率が70%から85～90%までに年々上昇。



姿置きで配置された道具



整理整頓された農機具